

# さわらび

2018. 9. 28 No. 19 文責：大塚

## 中央区陸上大会 (9/25)



天候も心配されましたが、今年度の中央区陸上大会が予定通り開催されました。本校でも夏休み中から全員が陸上練習に取り組んできました。また、女子2名は4月当初から朝・夕に練習してきました。この大会は、四万十市・三原村(中央区)の全ての中学校が参加して行われる伝統ある大会です。本校のような小規模校は、本校と同じように、他校も全員参加の体制で取り組んでいます。各自の競技の成績はもちろんです、同じ中央区の中学生が大勢参加する中で頑張ることは大切な経験です。本校の入賞以上の競技の成績は、次のとおりです。

- ベスト女子砲丸投げ 7m23 (4位) 外田さくら
  - ベスト男子1500m 4分56秒36 (7位) 森亮嘉
  - ベスト男子走幅跳び 4m78 (7位) 森亮嘉
  - 1年男子100m 14秒86 (8位) 川村佑希
  - 1年男子走幅跳び 3m68 (7位) 外田航聖
- 【敬称略】



## 運動会の振り返りから

運動会のあと、9月19日(水)に、運動会を振り返っての時間をとりました。とても素敵な振り返りです。飾らない言葉が並んでいます。ぜひ、保護者の皆様・地域の皆様も読みいただけたらと思います。

【今回の学習を通じて出会った人や、発見したもの、見つけたこと】

- 人数が少ないときなどは、たくさんの人たちが協力してくれることが分かった。
- 人が少なくても、みんなが頑張ればなんとかなるんだと分かった。
- 今年は中村高校の人たちにも来てもらって、手伝ってもらった。後半からの競技は団体が多かったから、高校生が手伝ってくれてとても助かった。おじいさんとおばあさんの縄ないのスピードがすごかった。
- 「パイプライン」で声を出して励まし合いながらできたので、声を出すことはとても大切なことだと改めて感じました。

## 「~できるかもしれない」を大事に

9月26日(水)、楽しい1時間を過ごしました。数年前まで学校のスクールカウンセラーをしていた松井浩之さんを講師に迎えて、全校生徒で講演を聞きました。講演と言っても、笑いあり活動ありの1時間なので、あっという間でした。今は、海外での活動も含めて、「人が夢をかなえるための仕事」をしているという話から、「仲間をつくるゲーム」「頭を柔らかくしよう」「夢がかなうために」とのメッセージを伝えてくれました。



生徒のみんなが書いたお礼の手紙を、一部紹介します。

■僕は松井先生の話聞いて、とても感心しました。自分の将来の夢の話で、とてもいい話だと思いました。僕は、まだ、夢ややりたい職業などはないけど、松井先生が言ってくれた「~できるかもしれない」ということを忘れずに頑張りたいと思いました。

■夢をかなえる仕事はすてきな仕事だと思いました。私はやる前から「こんなの無理」「私にはできない」とあきらめていたけど、今回の話を聞いて、やるまえから決めつけるんじゃなくて、やってから無理かどうかを判断できるようになりたいと思いました。自分が興味のあることやチャレンジしたいことなど、全力でしがみついて失敗をおそれないで頑張っていきたいと思います。

■昨日は、僕たちに授業をしてくれてありがとうございました。僕は割りばしの使い方を考えるゲームが一番楽しかったです。普段は食べるときにしか使わない割りばしでも、いろいろな使い道があることが分かりました。僕はこれから松井先生に教えてもらったように、興味のあることには失敗をおそれず、取り組んでいこうと思いました。



## 自分の安全は自分で守る!

以前、9/21~30までの秋の交通安全週間のことをここで紹介しましたが、この期間は終わっても、自転車・徒歩での登下校は気をつけましょう。車を運転している立場からは、夕暮れ時や雨の降っているときは、本当に見えにくくなります。特に夕暮れ時の、車のライトが点灯しはじめる時間帯! 自転車のライトの点灯、反射板等々、まず自分の安全は自分で守ることで